

北海道
唯一

寝台特急 北斗星 宿泊事業 計画

北海道・北斗市

合同会社 青（アオ）

代表社員 佐々木 善史



ビジネスプラン 発表概要

- ・ 会社概要
- ・ 本事業の具体的な内容
- ・ 自社の強み/市場動向
- ・ 事業展望
- ・ 今後の課題

会社概要

- ・ 2017年8月 創業
- ・ 北斗市商工会青年部所属の3名にて
- ・ 「副業」での創業
- ・ 北海道新幹線開業効果の持続性
- ・ 青年部事業の持続性
- ・ 「地域振興」に特化した民間企業
- ・ 主な事業内容は2つ
 - ①地場産品使用の加工品販売
 - ②寝台特急北斗星の
保存管理とカフェ運営



① 地場産品使用の 加工品販売



② 寝台特急北斗星の 保存管理とカフェ運営

- ・ 2016年4月
北斗市商工会青年部が主体となり、北海道新幹線開業で廃線となった人気の高い寝台特急北斗星車両を地域振興の一環として取得・保存すべくクラウドファンディングで資金を調達。



解体の危機にある 27年間愛された 寝台列車「北斗星」を 守りたい!!

クラウドファンディングで
資金募集中!



<https://readyfor.jp/projects/hokutosel>

READYFOR?

クラウドファンディングだけではなく
直接お申し込みいただけます。
詳しくは裏面をご覧ください。

**2016.4.27
資金調達締め切り**

プロジェクト
北斗の星に 関いを 推進委員会 会社
<http://hokuto-star.jp/>

「北斗の星」の保存を推進委員会（代表：青井 博司）が中心となって実施しています。北海道北斗市郵便1-4-1 | TEL 0138-62-213 | FAX 0138-62-2217 | E-mail info@hokuto-star.jp
※担当者は事務局に勤務していないため、お問い合わせはできません。メールにてお願いたします。

Response.

② 寝台特急北斗星の 保存管理とカフェ運営



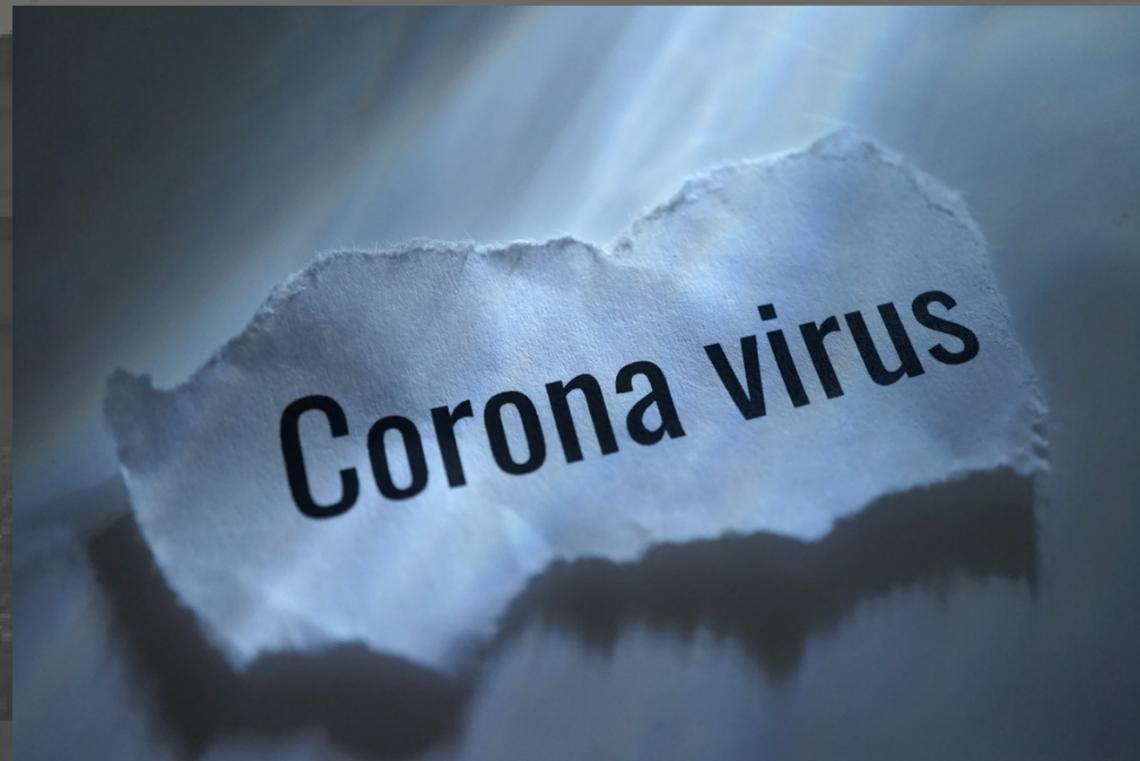
会社概要

- ・ 我々3名は「報酬ゼロ」
- ・ その報酬分は車両維持費に
- ・ 維持費約100万円/年
- ・ そのほとんどが車両塗装費



会社概要

- ・ 北斗星事業（カフェ・物販）は
2020.04～全て**休止**
- ・ 現状のままだと今後の見通し不透明
- ・ 車両維持費捻出が困難に . . .



寝台特急北斗星 宿泊事業

+ ワークーションも

- ◆寝台特急北斗星車両を活かした宿泊施設へ改装
- ◆「寝台特急北斗星車両」と「自然」に触れあえる立地でのトレーラーハウス宿泊事業
- ◆「ワークーション」向けワーキングスペース整備・運営事業



北斗星車両へ 宿泊施設

現役時代さながらに
寝台車への宿泊

トレーラー ハウス宿泊

寝台特急北斗星を眼前に
自然と触れ合い、貸切での
安心・安全宿泊

北斗星車両へ 宿泊施設

現役時代さながらに
寝台車への宿泊



北斗星車両へ 宿泊施設

現役時代さながらに
寝台車への宿泊

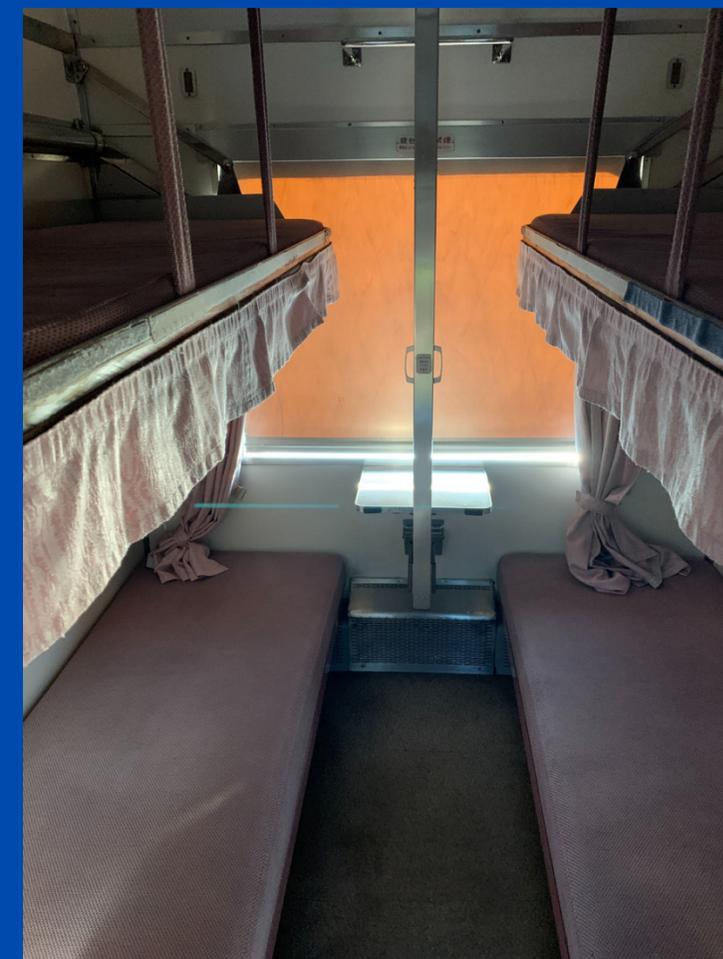


オハフネ25形車両。
向い合わせ2段ベッド
4名/室タイプ。

本事業においては
感染拡大予防として
宿泊客室では使用せず

1名/室で時間貸の
ワーキングスペース
として使用する。

計8室あり。



北斗星車両へ 宿泊施設

現役時代さながらに
寝台車への宿泊



北斗星車両へ 宿泊施設

現役時代さながらに
寝台車への宿泊



本事業ではこの部分、
スハネ25形車両内の
個室型客室を使用。

1名/室の完全個室が
計8室あり。

北斗星車両 宿泊施設へ

現役時代さながらに
寝台車への宿泊



【ワーキングスペース】

3,000円/室

計8室

※8時間まで

【宿泊/シャワースペース】

5,000円/室/泊 定員1名

計8室

チェックイン
15:00~

チェックアウト
10:00

トレーラー ハウス宿泊

寝台特急北斗星を眼前に
自然と触れ合い、貸切での
安心・安全宿泊



トレーラー ハウス宿泊



寝台特急北斗星を眼前に
自然と触れ合い、貸切での
安心・安全宿泊



【トレーラーハウス宿泊】

20,000円~/室 定員3名

計2棟

チェックイン
12:00~

チェックアウト
10:00

トレーラー ハウス宿泊

寝台特急北斗星を眼前に
自然と触れ合い、貸切での
安心・安全宿泊

+ ワークーションも

コロナ禍で生活時間やリズム、自然環境の使い方ヘルスケア価値を生み出す手段の一つとして“ワークーション”に注目が高まってきている中、寝台特急北斗星と恵まれた自然環境という当社の持つ強みに「ワーキングスペース」をプラスし、更なる付加価値をつけてお客様へ提供する。



+ ワークーションも

北斗星車両が設置されている同一敷地内には
コンテナハウス1棟とログハウス1棟がある。
コンテナハウスは地元・茂辺地の地域団体が
飲食店を、ログハウスは当社がカフェを運営
しているが、今般のコロナの影響を受け、
現状両店ともに営業休止を余儀なくされ、
来年度以降の再開見通しも立ってはいない。
そこで、そのコンテナハウス・ログハウスの
2棟をワークーションに適した
ワーキングスペースへと整備する。



+ ワークーションも

- コンテナハウス：5席
- ログハウス：5席
- 北斗星前方B寝台：8席

【料金】

北斗星やトレーラーハウス宿泊客には無料。
その他の日帰り利用客には、

コンテナハウス/ログハウス
1,000円/席（8時間迄）

※延長は8時間毎に+1,000円/席

北斗星車両B寝台

3,000円/室（8時間迄）

※延長は基本的に不可



強み

- ◆ 全国で3例のみの「北斗星車両」保有
- ◆ 未だ圧倒的人気を誇る「北斗星」
- ◆ 保存場所での独占的サービス提供可能
- ◆ 副業創業による多方面の人脈保有

弱み

- ◆ 極端に低い収益構造（カフェ・物販）
- ◆ 従来型観光に頼った事業形態
- ◆ 脆弱な資金体系
- ◆ 困難な北斗星車両維持費捻出

市場背景/機会

- ◆ 旅行/観光に対する価値観の変化
- ◆ × 非日常体験から○安心安全体験へ
- ◆ 抑制された生活からの解放欲
- ◆ 働き方に対する新しい価値観の台頭
- ◆ 近郊に同業他社が存在しない

市場背景/脅威

- ◆ コロナ禍による観光マインドの低下
- ◆ 「脱」公共交通に対する備え
- ◆ まだまだ知名度の低い「北斗市」
- ◆ 行政頼みの地域振興策
- ◆ 北海道新幹線のみ relied 観光施策

新型コロナウイルス感染拡大で 変容した旅行・観光に対する ニーズと価値観

- ◆抑制された生活環境からの解放欲
- ◆低コスト・遠く of 非日常体験から
低リスク・安心できる体験へ
- ◆旅の個人化・スロウな生活ニーズ



- 「しばらく行きたくない」は、海外旅行と大都市、有名観光地への旅行（人混み回避）
- 「すぐ旅行したい」のは自然が多い、比較的空いている地域
- 旅行同行者は「一人旅」か「家族」などごくパーソナルな関係者
- 旅の目的は「自分軸」。個人の趣味・嗜好に合う「個性」ある地域

当社が保存・保有している「寝台特急北斗星」の車両は北斗市茂辺地地区にあり、その茂辺地地区は北斗市内においても自然豊かな場所として親しまれており、毎年ダイナミックな鮭の遡上が間近に見られる茂辺地川がすぐ横を流れ、目の前は函館山が一望できる函館湾、そして車で10分ほどの距離にはキャンパーの聖地と呼ばれる湯ノ沢水辺公園キャンプ場や森に囲まれた荘厳な雰囲気、トラピスト修道院など自然環境・景観に特に恵まれている。

トレーラーハウスでの宿泊をベースに近郊地へのキャンプやBBQ、自然景観散策、そして寝台特急北斗星と、密を避け、自然を十二分に満喫し、個人の嗜好にマッチしたサービス提供を充分にできる環境にある。

事業展望

コロナ禍による
旅行欲求
「反動増」

外出自粛等が解除され
たらやりたいこと
第一位
「国内旅行」

※出典：JTB総合研究所

変容した
仕事・生き方
の価値観

テレワークの台頭
全国で48% 東京で71%
がテレワークを経験。
その6割以上が
「よかった」と回答

※出典：株式会社リクルートキャリア

「個人」の幸せを追求
人生を見つめ直した
・・・13%
自分の幸せを追求したい
・・・43%

依然高い人気を
誇る「北斗星」

1,000名以上
クラウド時の支援者数
10,000人以上
来場者数/年間

「また是非泊まりたい」
「懐かしい匂い・・・」
「涙が出てくる」

事業展望

本事業は当社で実施するのだが、本取組は決して当社だけのものではなく、本事業を起点に地域の商工会や観光協会、市の観光課などと連携がより進み、現場の声をそれら各団体と共有し、能動的に提案、実行していくことで互いに良い相乗効果を生むと考える。

更には地域の飲食店や農水産事業者、周辺自治体と協働でその地域に長く滞在してもらおうプラン造成に積極的に取り組み、何よりも事業実施地域であり観光客や旅行者を受け入れる地域住民とコミュニケーションを密にし、受け入れる側のコロナリスク最小化を、話し合いを重ねながら進め、北斗市及び地域における新たな「交流ビジネスモデル」を形成することが重要であると考えている。

今後の課題



宿泊事業へのノウハウ

「宿泊業」の知見、業務管理や予約管理、日々の
クリンネスノウハウが無い。

広告宣伝手法

大手旅行サイトへの掲載を考えているがノウハウ
がないため費用対効果が不明。また広告媒体・手
法獲得も課題。

終息の山谷が激しいコロナ情勢

増加・減少を繰り返しているコロナ禍の見通しが
立たず、集客へ直接的な影響が懸念される。

北海道
唯一

寝台特急 北斗星 宿泊事業 計画

北海道・北斗市

合同会社 青（アオ）

代表社員 佐々木 善史